

総合健康診断（人間ドック）のご案内

小須戸町国民健康保険係では、加入者の健康を守り、促進する目的で、「総合健康診断（人間ドック）経費2万5千円助成」を実施いたします。進んで受診しましょう。

受診対象者の条件

本年度中で満年齢が35才以上の人。（昭和41年3月31日以前に生まれた人）
国民健康保険加入者であり、国民健康保険税の滞納世帯でないこと。
注意…現在対象となる人でも、受診するまでに国保加入者でなくなった時は、受診できませんので、早めに国保喪失手続きをしてください。また、その予定の人もご連絡ください。

受診者の負担金

皆さんの負担金は検診機関により異なりますが、10,700円～14,900円です。（受診の日にお持ち願います。）

受診日・受診機関

10月11日（水）・12日（木）・17日（火）・18日（水）・24日（火）

新潟県労働衛生医学協会

新潟市川岸町1-39-5

10月の毎週火・木曜日

白根健生病院

白根市大字上下諏訪木770-1

10月の毎週月～金曜日

新津医療センター病院

新津市古田610

10月の毎週月・水～土曜日（ただし、第2・4土曜日は休診のため除く）

下越病院

新津市中沢町1-23

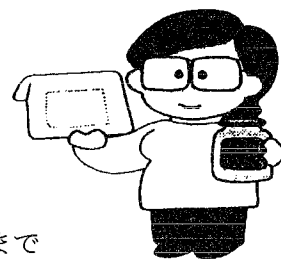
10月の毎週月～土曜日（ただし、第2・4日曜も実施）

新潟県健康管理協会

新潟市新光町11-1

※お申し込みは役場住民課国民健康保険係（2番の窓口）に申請書を備えてありますので、9月27日迄に印鑑・保険証を持参の上、申請してください。

気軽に受けられ、
簡単な受診工程で
精密な診断



お問い合わせは
小須戸町役場国民健康保険係まで
☎38-3111（内線139）

みつかる主な病気		
一般計測	肥満・やせすぎ いろいろな疾患 老人性難聴 職業性難聴	肝機能 各種肝疾患 (アルコール性肝障害) 肝炎、肝硬変症 脂肪肝、肝ガン
呼吸器系	肺ガン・肺結核 気管支喘息 気管支拡張症 肺気腫など	胆道疾患 (胆石症、胆のう炎) 栄養不良
循環器系	高血圧症 脳血管疾患 動脈硬化疾患 心冠動脈疾患 (心筋梗塞症、狭心症) 心臓弁膜症 網膜疾患、動脈硬化症	糖尿病 貧血、白血病 その他の血液疾患 その他の消耗性 全身疾患
泌尿器系	腎疾患 尿路疾患 血清電解質異常	リウマチ ガン一般 A、B、O、AB(Rh因子)
消化器系	胃ガン・胃ポリープ 胃・十二指腸潰瘍 胆のう、肝臓、脾臓 膵臓、腎臓の疾患 大腸ガン 膵臓機能検査	子宮ガン・子宮筋腫 付属器疾患・膣炎等 乳ガン 体力テスト・栄養指導

ゆめあり通信

年金は、世代と世代の助け合い



保険料納付は、年金受給への第一歩！将来にそなえ、保険料は必ず納めましょう。

新潟県国民年金マスコットゆめあり君

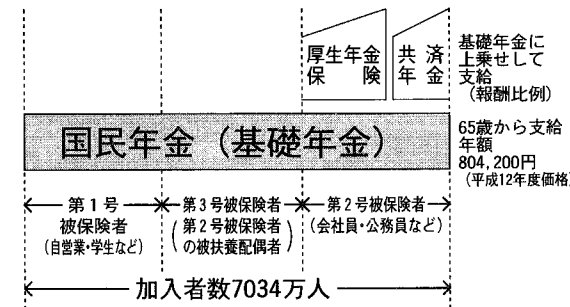
Q1 『公的年金制度』とは？

A 公的年金制度は、国が社会保障の一環として運営し、保険料を納めて年金を受けるといふ社会保険方式により、高齢や障害になったり、死亡したときに所得保障を行う社会連帯・助け合いの仕組みです。

公的年金制度は、20歳以上60歳未満のすべての人が国民年金に加入し、厚生年金や共済組合加入者は国民年金と併せて二重に加入する仕組みとなっています(図1)。

受ける年金については、国民年金だけの加入者は基礎年金を、

公的年金のしくみ 図1



厚生年金や共済組合加入者は基礎年金と併せて厚生年金や共済組合から年金を受けられることになります。

Q2 なぜ、『公的年金制度』があるのですか？

A 高齢化や核家族化が急速に進む中、誰もが迎える老後を安心して暮らすことが重要なことになっていきます。しかし、個人の努力だけで老後に備えるのは、大変難しいことです。

そのため、現役世代の全員で高齢者を支える公的年金制度は、私たちの生活になくてはならない存在となっています。

Q3 最近マスコミなどで、『将来、年金制度があぶない！』などといわれていますが、本当はどうなのでしょうか？

A 公的年金制度は、年金を受け取る側と保険料を納める側との両方のバランスをうまくとっていく必要があります。そのため、公的年金制度では、社会情勢の変化に対応できるように五年に一回は『財政再計算』をして、将来の年金を支給するのに必要な財源となる保険料収入などの予測をたて、年金額や保険料額を見直しています。

公的年金制度は、このように国が責任を持って、長期的に健康

老後の所得保障は公的年金を基礎として、さらに老後の保障を望む場合に、国民年金基金や個人年金等に加入しましょう。

全かつ安定的に運営しているため、将来にわたって確実に年金がもらえます。

Q4 『公的年金』よりも、『個人年金や生命保険の方が頼りになりそうなのですか？』

A 公的年金制度は、現役世代の全員が加入し、高齢者等を支える助け合いの制度であり、任意の加入員により構成される個人年金等とは、根本的に違います。

また、個人年金や生命保険に比べ、公的年金には、次のような優れた特徴があります。

- ①受ける年金額は物価の上昇に合わせて引き上げられます。
- ②基礎年金額の三分の一は、国が負担します。
- ③老齢年金は生涯受けることができます。

基礎として、さらに老後の保障を望む場合に、国民年金基金や個人年金等に加入しましょう。